



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



San'in Kaigan
UNESCO
Global Geopark

駒馳山の形成と人々の歴史

し ち や ま

駒馳山東コース

岩美町の大谷海岸の西側は、駒馳山から供給された岩石でできた礫浜です。いろいろな種類の石ころが見られ、岩石の観察に適した場所です。駒馳山の東側山麓では、駒馳山バイパスの工事の際に小畠古墳群が発見されました。古墳の石室にも大谷海岸で観察した駒馳山の岩石が使われていることがわかります。駒馳山の周辺で人々が活動していたことがわかるコースです。

江戸時代の石畳道を歩こう！

駒馳山峠は、雨が降ると地面がぬかるんで滑りやすく、馬も越えることが難しい難所でした。文化8年（1811）に備前国の六部多十郎がこの地方にやってきたとき、この難所に出会い、人々が苦しんでいることを知りました。そして、石畳道をつくることを決心し、多くの人の協力を得て、およそ1年で石畳道が完成しました。現在もこの石畳道の一部が残っています。



基本コース

①浦富海岸島めぐり遊覧船乗り場	スタート
25分 ↓ 約1.4km	*時間は徒歩
②大谷海岸	
22分 ↓ 約1km	
③石畳道	
17分 ↓ 約850m	
④小畠3号墳 ⑤穴観音	
1分 ↓ 約50m	
⑥小畠1号墳	
35分 ↓ 約1.7km	
①浦富海岸島めぐり遊覧船乗り場	
総移動時間約1時間40分	
全行程約5km	



総移動時間約1時間40分
全行程約5km



美しい自然を守るために、石や植物は観察するだけにしましょう。
危険な場所や立ち入り禁止の場所には入らないようにしてください。
持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!!



石畳道



トイレ	田
駐車場	畑
食事	足元注意
説明看板	交通安全確認
道順	レンタサイクル
撮影スポット	基本コース

みどころいっぱい大谷周辺

①浦富海岸遊覧船乗り場



遊覧船では、海上から日本海の荒波と真冬の厳しい風雪などによって削られた海食崖、海食洞門、そして黒松に覆われた島々や真っ白な石英砂の砂浜など、変化に富んだ景観を楽しむことができます。大型船と小型船があり、小型船は洞門や洞窟に入ることもできます。詳しくは山陰松島遊覧(株)まで 0857-73-1212 ホームページ: <http://www.yourun1000.com>

②大谷海岸



網代漁港に隣接する海岸です。夏は海水浴場として賑わいます。海岸のほとんどは砂浜ですが、駒馳山側の海岸は石ころ(礫)がごろごろしている礫浜です。礫浜ではいろいろな種類の石ころを見ることができますが、これらのほとんどは駒馳山の岩石が運ばれてきたものです(※ジオコラム1参照)。

③石畳道



旧山陰道の駒馳山峠は、雨が降ると地面がぬかるんで滑りやすく、馬も越えることが難しい難所でした。文化8年(1811)に、備前国の多十郎という六部(諸国を遍歴する僧)がこの地方にやってきたとき、この難所に出会い、一念発起して石畳道をつくることを決心しました。そして、鳥取や倉吉の多くの有力者の協力を得て、およそ1年で石畳道が完成しました。現在、石畳道は152mが現存しています。

④小畠3号墳



国道9号改築(駒馳山バイパス)工事に伴い発掘調査された古墳時代後期(約1,400年前)の古墳です。全長は12mで、横穴式石室の中には家形石棺が納められていました。古墳の周囲の溝の跡や他の古墳の形状などから、一辺が27mの方墳であったと考えられています。保存のために、現在の場所に移築されました。また、5号墳は布勢運動公園に移築されています。

⑤穴観音



元々、小畠1号墳の中に安置されていた観音像です。これらの観音像は、大谷平野の干拓事業の達成大願成就の記念として、安永年間(1772~1781)の頃に、現場を指揮していた和田忠太夫が発起して寄進されたものです。平成2年に、石室崩壊の危険性があるために、現在の位置に安置されました。

⑥小畠1号墳



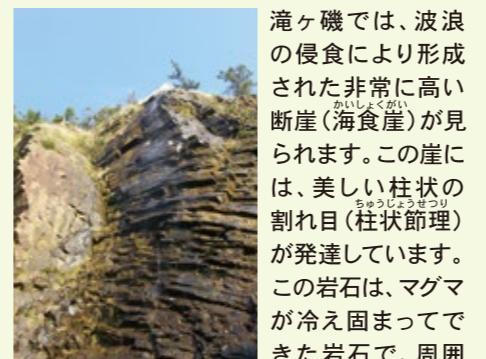
この古墳は、小畠古墳群のうちの1基で、観音像が安置されていたため、「穴観音古墳」とも呼ばれています。この古墳は、古墳時代後期に築造されたもので、石室は全長11m20cmあり、玄室の高さも高いところでは3m50cmもある大きなものです。

おすすめ・大谷海岸の水冷自破砕溶岩



大谷海岸にある大きな岩の表面には、岩石がひび割れた跡が残っています。この岩石は溶岩が冷え固まつたものですが、水中に溶岩が噴出したため、急激に冷えて固まり、激しくひび割れました。このような岩石は水冷自破砕溶岩と呼ばれ、溶岩が水中で固まつた証拠となります。岩戸海岸にも同様の岩石が見られます。

おすすめ・滝ヶ磯



滝ヶ磯では、波浪の侵食により形成された非常に高い断崖(海食崖)が見られます。この崖には、美しい柱状の割れ目(柱状節理)が発達しています。この岩石は、マグマが冷え固まつてきた岩石で、周囲の岩石をマグマが突き破った、マグマの通り道です。その幅は150mにも達しています。雨が降ると、この岩石の上から滝のように水が流れ落ち、さらに美しい光景となります。

おすすめ・中国自然歩道



駒馳山の北側の海食崖の上には、中国自然歩道が整備されています。大谷海岸側は見晴らしがよく、大谷海岸と網代漁港を見渡すことができます。遊歩道の途中には、人々が急峻な斜面に点在する平坦面を利用して畑を作っていた跡なども見られます。

おすすめ・網代隧道



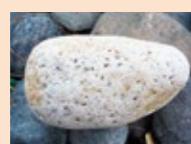
この隧道(トンネル)ができる以前は、網代と沓井の間は険しい断崖で、その崖にこうやくにつけられた「坂越八丁」と呼ばれる細い道しかありませんでした。明治40年(1907)に、当時の網代村長がこの崖に隧道を通すことを思い立ち、大正元年(1912)に念願の隧道が完成しました。当時は、トンネル内部は花こう岩がむき出しの状態で、ぼろぼろ崩れたり、冬は氷柱が垂れ下がって危なかったそうです。

ジオコラム①

大谷海岸の礫

大谷海岸では、浦富海岸をつくる花こう岩や駒馳山をつくる多くの岩石が礫として見られます。何種類見つけられるか、探してみよう!

《花こう岩 かこうがん》



浦富海岸をつくる岩石で、マグマが地下深くでゆっくり冷えてできたものです。

《安山岩 あんざんがん》



マグマが急に冷やされてできた岩石で、流紋岩よりやや黒っぽい色をしています。

《松脂岩 しょうしがん》



黒曜石(こくようせき)に似ていますが、ガラス質の光沢ではなく、樹脂状の光沢があります。

《砂岩 さがん》



砂の粒(1/16~2mm)が集まつてできた岩石です。

《凝灰岩 ぎょうかいがん》



火山灰が固まってできた岩石です。

《泥岩 でいがん》



泥の粒(1/16mm以下)が集まつてできた岩石です。

ジオコラム②

大谷の沢

大谷の砂丘の背後には、かつて池がありました。江戸時代の万治元年(1695)以降、この地域の田んぼの利水・干拓事業が積極的に行われるようになりました。

鳥取藩に召し抱えられた和田得中が、大谷池の干拓を指揮するようになり、三代目の忠太夫のときに事業が完成しました。江戸時代(1795)に書かれた『因幡誌』にも、「細川より十六町、七夜山を打越、北の平沙の中にあり。但馬街道なり。(中略)近傍に沢あり、大谷の沢とて、昔は大なる池なりしが年を遂うて新田となり、今は池の形もなし」と記されています。



水田が広がる現在の大谷の沢

《流紋岩 りゅうもんがん》



マグマが急に冷やされてできた岩石です。しばしば縞模様が見られます。

クイズの答え

①: 池月(いけづき)

(生月)

②: 33体